

2019年度
授業計画表
(シラバス)

四国歯科衛生士学院専門学校

分野	授業科目名	単位	時間数(時間)	授業回数(1コマ90分)	授業形態
基礎分野	実践歯科英語	2	30	90分 × 20コマ	講義・演習
開講年度および時期	担当教員	評価方法		教科書及び参考資料他	
2019年度 前期・後期	ポテズワ・ジェフリー・マーク	1) 科目終了時の学科試験(50点) 2) 英会話での質疑応答試験(50点)		毎回プリント配布	
一般目標	国際化社会に対応できる歯科衛生士になるために、臨床で使用する歯科用語や歯科表現を学び実践で役立つ英語を修得する。				
到達目標	①専門的な英単語や略語の意味を理解できる。 ②専門的な英単語や略語を書くことができる。 ③英語でコミュニケーションをとることができる。				
授業計画					
回	単元	形態	内容	備考	
1	歯科治療前の英会話	講義	治療前の受付での会話		
2	歯科診療チェアへの誘導	講義	位置・姿勢・動作の指示		
3	患者への問診①	講義	問診(既往歴)		
4	患者への問診②	講義	問診(一般症状)		
5	歯科保健指導の英会話	講義	ブラッシング指導		
6	歯科診療で使用する歯科用語①	講義	歯科疾患, 歯科治療用語		
7	歯科診療で使用する歯科用語②	講義	問診(歯周疾患, 顎関節症)		
8	歯科診療で使用する歯科用語③	講義	検査(X線撮影)		
9	歯科治療の説明	講義	治療後の注意事項		
10	歯科治療後の英会話	講義	治療後の受付での会話		
11	英会話①	演習	治療前の受付での会話		
12	英会話②	演習			
13	英会話③	演習	患者誘導		
14	英会話④	演習			
15	英会話⑤	演習	患者とのコミュニケーション		
16	英会話⑥	演習			
17	英会話⑦	演習	治療後の注意事項		
18	英会話⑧	演習			
19	英会話⑨	演習	治療後の受付での会話		
20	英会話⑩	演習			

分野	授業科目名	単位	時間数(時間)	授業回数(1コマ90分)	授業形態
専門基礎分野	解剖学B	1	15	90分 × 10コマ	講義・演習
開講年度および時期	担当教員	評価方法		教科書及び参考資料他	
2019年度 前期・後期	馬場 麻人	1)科目終了時の学科試験(100点)		解剖学・組織発生学・生理学 (医歯薬出版)	
一般目標	人体の成り立ちを理解し全身の一部でもある口腔を理解するために、体の構造と機能に関する知識を修得する。				
到達目標	①各種器官の構造を理解できる。 ②各種器官の機能を理解できる。 ③全身疾患を持つ患者や、全身疾患に対する口腔疾患の関わりを理解できる。				
授業計画					
回	単元	形態	内容		備考
1	解剖学で学ぶこと 骨格系	講義	人体の構成, 人体の区分, 方向用語 概説, 頭蓋骨, 体幹骨, 上肢骨, 下肢骨		小テスト形式で学習の確認を行い、各回、問題解決・解説を行う。
2	筋と運動	講義	概説, 頭蓋骨, 体幹骨, 上肢骨, 下肢骨 体の各部位の筋系		
3	消化吸収、呼吸、排泄	講義	概説 消化器系, 呼吸器系, 泌尿器系		
4	生殖、内分泌	講義	生殖器系, 内分泌系		
5	循環①	講義	脈管系の概要 血管系, 心臓, 動脈系		
6	循環②	講義	静脈系, 胎児の循環系, リンパ系, 脾臓		
7	神経系①	講義	神経学の概要・構成 中枢神経学, 脳脊髄膜		
8	神経系②	講義	脳の血管, 末梢神経系, 神経系のおもな伝導路		
9	感覚①	講義	感覚器の概要 視覚器, 平衡聴覚器, 味覚器		
10	感覚② 解剖学まとめ	講義	嗅覚器, 外皮 解剖学まとめ		

分野	授業科目名	単位	時間数(時間)	授業回数(1コマ90分)	授業形態
専門基礎分野	口腔解剖学B	1	15	90分 × 10コマ	講義・演習
開講年度および時期	担当教員	評価方法		教科書及び参考資料他	
2019年度 前期・後期	馬場 麻人	1)科目終了時の学科試験(100点)		口腔解剖学・口腔組織発生学・ 口腔生理学(医歯薬出版)	
一般目標	顔面、口腔及びその周囲組織を理解するために、頭頸部や歯に関する解剖の知識を修得する。				
到達目標	①各部位の名称を列挙できる。 ②頭頸部の解剖を理解できる。 ③歯の解剖を理解できる。				
授業計画					
回	単元	形態	内容	備考	
1	口腔付近の解剖学①	講義	口腔とは、口唇と頬、口腔前庭 固有口腔、口峽、舌、唾液腺	小テスト形式で学習の確認を行い、各回、問題解決・解説を行う。	
2	口腔付近の解剖学②	講義	咽頭、頭蓋骨		
3	口腔付近の解剖学③	講義	上顎骨、口蓋骨 下顎骨、舌骨		
4	口腔付近の解剖学④	講義	顎関節、表情筋		
5	口腔付近の解剖学⑤	講義	頸部の筋、咀嚼筋		
6	口腔付近の解剖学⑥	講義	口腔付近に分布する脈管系		
7	口腔付近の解剖学⑦	講義	神経		
8	歯の形態①	講義	歯の概論、永久歯		
9	歯の形態②	講義	乳歯、歯列と咬合、異常歯		
10	口腔解剖学まとめ	講義	口腔解剖学のまとめを行う		

分野	授業科目名	単位	時間数(時間)	授業回数(1コマ90分)	授業形態
専門基礎分野	統計活用法	1	15	90分 × 10コマ	講義・演習
開講年度および時期	担当教員および実務経験	評価方法		教科書及び参考資料他	
2019年度 前期・後期	本那 智昭 歯科疾患の予防が研究テーマであり、歯科医師としての臨床経験のある教員が、基本的な歯科衛生統計に関する知識や、コンピュータを用いた統計処理の手法を指導する科目である。	1)レポート(50点) 2)科目終了時の学科試験(50点)		保健情報統計学(医歯薬出版)	
一般目標	現代社会のニーズに合った保健情報の取り扱いができるようになるために、関連する情報を把握し、衛生統計の手法を修得する。				
到達目標	①それぞれに応じた保健情報の収集方法を選択できる。 ②データの数値のもつ特徴を説明できる。 ③それぞれに応じたデータの処理・解析方法を選択できる。 ④コンピュータを用いた基本的な統計処理ができる。				
授業計画					
回	単元	形態	内容		備考
1	保健情報と保健統計	講義	保健情報・統計についての概論		コンピューター必要
2	保健情報と疫学	講義	疫学の方法論		コンピューター必要
3	実際の統計処理①	講義	データ入力		コンピューター必要
4	実際の統計処理②	講義	データ処理方法について		コンピューター必要
5	実際の統計処理③	演習	データ処理演習		コンピューター必要
6	実際の統計処理④	演習	データ処理演習		コンピューター必要
7	歯科疾患の指数①	講義	歯科疾患の指数・概論		
8	歯科疾患の指数②	講義	歯科疾患の指数・各論		
9	保健情報の分析手順	講義	各種統計の利用方法について		
10	保健統計の方法	講義	保健統計の実際(各論)		

分野	授業科目名	単位	時間数(時間)	授業回数(1コマ90分)	授業形態
専門基礎分野	衛生・公衆衛生学	2	30	90分 × 20コマ	講義・演習
開講年度および時期	担当教員および実務経験	評価方法		教科書及び参考資料他	
2019年度 前期・後期	廣島 佑香 歯周病と糖尿病に関する研究者であり、歯科医師としての臨床経験のある教員が、健康を左右する環境、健康に関わる地域の役割について指導する科目である。	1)科目終了時の学科試験(100点)		保健生態学(医歯薬出版)	
一般目標	様々な環境やライフステージにおける歯科医療に対応するために、健康と予防に関わる人間と社会の仕組みを理解する。				
到達目標	①健康と予防医学の概念を理解できる。 ②人間をとりまく健康を左右する環境について理解できる。 ③集団を対象とした地域保健活動のあり方を理解できる。 ④他職種と歯科衛生士の関わりについて理解できる。				
授業計画					
回	単元	形態	内容	備考	
1	総論	講義	公衆衛生の定義, 健康の概念 健康増進対策, ヘルスプロモーション		
2	疫学	講義	疫学の定義・方法		
3	人口	講義	人口に関する統計, 生命表とは		
4	健康と環境①	講義	環境と健康の概念, 生活環境(空気・水・放射線・住居環境等)		
5	健康と環境②	講義	地球環境の変化と健康への影響, 公害・廃棄物の処理		
6	感染症①	講義	感染と発症・予防		
7	感染症②	講義	主な感染症の動向と予防		
8	食品と健康①	講義	食中毒, 機能性食品, 食品添加物		
9	食品と健康②	講義	国民栄養の現状, 食育基本法		
10	前半のまとめ	講義	試験問題の対策, 前半項目についての質疑		
11	母子保健①	講義	母子保健の統計, 母性保健管理		
12	母子保健②	講義	保健組織活動, 学校保健活動の推進		
13	学校保健①	講義	学校保健の意義, 学校保健の活動と組織		
14	学校保健②	講義	保健組織活動, 学校保健活動の推進		
15	成人・老人保健①	講義	成人・老人保健の現状, 生活習慣病とその予防		
16	成人・老人保健②	講義	成人保健と老人保健, 介護サービス		
17	産業保健①	講義	産業保健の概念, 労働災害と職業性疾病		
18	産業保健②	講義	産業保健管理, 産業保健活動		
19	精神保健	講義	主な精神障害, 精神保健対策		
20	全単元のまとめ	講義	試験問題の対策, 全項目についての質疑		

分野	授業科目名	単位	時間数(時間)	授業回数(1コマ90分)	授業形態
専門分野	高齢者歯科学	1	15	90分 × 10コマ	講義・演習
開講年度および時期	担当教員および実務経験	評価方法		教科書及び参考資料他	
2019年度 前期・後期	可児 耕一・山ノ井 朋子	1)科目終了時の学科試験(100点)		高齢者歯科学(医歯薬出版)	
	大学病院で専門性の高い口腔外科の臨床経験のある歯科医師が、高齢者を支える法制度、高齢者の特性、疾患の特性と薬剤、要介護高齢者に必要な口腔ケアの重要性を指導する科目である。				
一般目標	高齢者に寄り添うことができる歯科衛生士になるために、高齢者を取り巻く環境や心身機能の変化を理解する。				
到達目標	①高齢者の特性を理解できる。 ②要介護高齢者に必要な口腔ケアの重要性を理解できる。 ③高齢者に多い疾患の特性と薬剤について理解できる。 ④高齢者を支える法制度について理解できる。				
授業計画					
回	単元	形態	内容		備考
1	高齢者をとりまく社会と環境	講義	高齢者社会と健康, 法制度, 居住形態・入院設備の特徴		
2	加齢による身体的・精神的変化と疾患	講義	加齢に伴う心身の変化, 高齢者に多い全身疾患・障害・口腔疾患		
3	高齢者の状態の把握①	講義	高齢者の生活機能評価, 高齢者歯科と臨床検査		
4	高齢者の状態の把握②	講義	高齢者の栄養状態・薬剤服用		
5	口腔のケア①	講義	高齢者に対する口腔ケア, 有病高齢者への口腔ケア		
6	口腔のケア②	講義	要介護高齢者への口腔ケア		
7	摂食嚥下リハビリテーション①	講義	高齢者のリハビリテーションの概要, 摂食嚥下の評価と対応		
8	摂食嚥下リハビリテーション②	講義	誤嚥性肺炎の予防, 在宅訪問歯科診療における摂食嚥下リハ		
9	高齢者に関わる医療と介護①	講義	在宅訪問診療の概要, 歯科衛生士に関わる公的介護保険の概要		
10	高齢者に関わる医療と介護②	講義	かかりつけ歯科の役割, 訪問看護と歯科の役割		

分野	授業科目名	単位	時間数(時間)	授業回数(1コマ90分)	授業形態
専門分野	歯科予防処置論Ⅱ	2	60	90分 × 40コマ	講義・演習
開講年度および時期	担当教員および実務経験	評価方法		教科書及び参考資料他	
2019年度 前期・後期	酒井 みね 歯科衛生士としての臨床経験のある教員が、歯周疾患やう蝕予防のための知識を強化し、諸検査、歯科疾患予防の臨床的実践力を身につけるための指導を行う科目である。	1) 確認テスト・提出物の評価(10点) 2) 科目終了時の学科試験(60点) 3) 実技試験(30点)		歯科予防処置論・歯科保健指導論(医歯薬出版) PMTC2(医歯薬出版)	
一般目標	歯科臨床での歯周疾患やう蝕予防処置ができる歯科衛生士になるために、知識や技術を修得する。				
到達目標	①臨床で行われる歯科疾患の予防に対する歯科衛生士の役割りが説明できる。 ②口腔内診査、予防的歯石除去、歯面研磨の操作ができる。 ③小窩裂溝填塞ができる。 ④個々の口腔内に応じた口腔健康管理の方法が選択できる。				
授業計画					
回	単元	形態	内容	備考	
1	臨床予備演習(要介護高齢者)	講義	口腔内観察、問題点の抽出、指導内容などの記録	臨床実習記録用紙「歯科保健指導」使用	
2	臨床予備演習(要介護高齢者)	講義	口腔内観察、問題点の抽出、指導内容などの記録	レポート提出	
3	臨床予備演習(相互演習)	演習	USブラシを使用した歯肉の炎症部位の清掃法(術者磨き)		
4	臨床予備演習(相互演習)	演習	USブラシを使用した歯肉の炎症部位の清掃法(術者磨き)		
5	臨床予備演習(幼児)	演習	幼児の発達、口腔内の把握と歯科健康診査	臨地実習記録用紙、レポート提出	
6	臨床予備演習(幼児)	演習	幼児の発達、口腔内の把握と歯科健康診査	実技試験:術者磨き	
7	歯面研磨・歯面清掃(相互演習)	演習	口腔内診査、超音波スケーラー、歯面研磨、歯面清掃(問診・歯周組織検査・PCR測定・CPIなど)		
8	歯面研磨・歯面清掃(相互演習)	演習	口腔内診査、超音波スケーラー、歯面研磨、歯面清掃(問診・歯周組織検査・PCR測定・CPIなど)		
9	歯面研磨・歯面清掃(相互演習)	演習	口腔内診査、超音波スケーラー、歯面研磨、歯面清掃(問診・歯周組織検査・PCR測定・CPIなど)		
10	歯面研磨・歯面清掃(相互演習)	演習	口腔内診査、超音波スケーラー、歯面研磨、歯面清掃(問診・歯周組織検査・PCR測定・CPIなど)		
11	歯面研磨・歯面清掃(相互演習)	演習	口腔内診査、超音波スケーラー、歯面研磨、歯面清掃(問診・歯周組織検査・PCR測定・CPIなど)		
12	歯面研磨・歯面清掃(相互演習)	演習	口腔内診査、超音波スケーラー、歯面研磨、歯面清掃(問診・歯周組織検査・PCR測定・CPIなど)		
13	歯面研磨・歯面清掃(相互演習)	演習	口腔内診査、超音波スケーラー、歯面研磨、歯面清掃(問診・歯周組織検査・PCR測定・CPIなど)		
14	歯面研磨・歯面清掃(相互演習)	演習	口腔内診査、超音波スケーラー、歯面研磨、歯面清掃(問診・歯周組織検査・PCR測定・CPIなど)		
15	歯面研磨・歯面清掃(相互演習)	演習	口腔内診査、超音波スケーラー、歯面研磨、歯面清掃(問診・歯周組織検査・PCR測定・CPIなど)		
16	歯面研磨・歯面清掃(相互演習)	演習	口腔内診査、超音波スケーラー、歯面研磨、歯面清掃(問診・歯周組織検査・PCR測定・CPIなど)		
17	歯面研磨・歯面清掃(相互演習)	演習	口腔内診査、超音波スケーラー、歯面研磨、歯面清掃(問診・歯周組織検査・PCR測定・CPIなど)	実技試験:口腔内診査、超音波スケーラー、歯面研磨、歯面清掃	
18	歯面研磨・歯面清掃(相互演習)	演習	口腔内診査、超音波スケーラー、歯面研磨、歯面清掃(問診・歯周組織検査・PCR測定・CPIなど)	実技試験:口腔内診査、超音波スケーラー、歯面研磨、歯面清掃	
19	歯面研磨・歯面清掃(相互演習)	演習	口腔内診査、超音波スケーラー、歯面研磨、歯面清掃(問診・歯周組織検査・PCR測定・CPIなど)	実技試験:口腔内診査、超音波スケーラー、歯面研磨、歯面清掃	
20	歯面研磨・歯面清掃(相互演習)	演習	口腔内診査、超音波スケーラー、歯面研磨、歯面清掃(問診・歯周組織検査・PCR測定・CPIなど)	実技試験:口腔内診査、超音波スケーラー、歯面研磨、歯面清掃	
21	小窩裂溝充填塞(模型実習)	演習	レジン系小窩裂溝充填塞材・セメント系小窩裂溝充填塞材使用		

22	小窩裂溝充填塞(模型実習)	演習	レジン系小窩裂溝充填塞材・セメント系小窩裂溝充填塞材使用	
23	小窩裂溝充填塞(模型実習)	演習	レジン系小窩裂溝充填塞材・セメント系小窩裂溝充填塞材使用	
24	小窩裂溝充填塞(模型実習)	演習	レジン系小窩裂溝充填塞材・セメント系小窩裂溝充填塞材使用	
25	歯科衛生介入(相互演習)	演習	個々の口腔内に応じた歯科予防処置・歯科保健指導	
26	歯科衛生介入(相互演習)	演習	個々の口腔内に応じた歯科予防処置・歯科保健指導	
27	歯科衛生介入(相互演習)	演習	個々の口腔内に応じた歯科予防処置・歯科保健指導	
28	歯科衛生介入(相互演習)	演習	個々の口腔内に応じた歯科予防処置・歯科保健指導	
29	歯科衛生介入(相互演習)	演習	個々の口腔内に応じた歯科予防処置・歯科保健指導	実技試験:口腔保健管理
30	歯科衛生介入(相互演習)	演習	個々の口腔内に応じた歯科予防処置・歯科保健指導	実技試験:口腔保健管理
31	歯科衛生介入(相互演習)	演習	個々の口腔内に応じた歯科予防処置・歯科保健指導	実技試験:口腔保健管理
32	歯科衛生介入(相互演習)	演習	個々の口腔内に応じた歯科予防処置・歯科保健指導	実技試験:口腔保健管理
33	歯科衛生過程の基礎知識	講義	歯科衛生過程の考え方	
34	歯科衛生過程の基礎知識	講義	歯科衛生過程の考え方	
35	歯科衛生過程の臨床展開	講義	練習問題を使って臨床での展開方法を学ぶ	
36	歯科衛生過程の臨床展開	講義	練習問題を使って臨床での展開方法を学ぶ	
37	歯科衛生過程の臨床展開	講義	練習問題を使って臨床での展開方法を学ぶ	
38	歯科衛生過程の臨床展開	講義	練習問題を使って臨床での展開方法を学ぶ	
39	歯科衛生過程の臨床展開	講義	練習問題を使って臨床での展開方法を学ぶ	
40	歯科衛生過程の臨床展開	講義	練習問題を使って臨床での展開方法を学ぶ	

分野	授業科目名	単位	時間数(時間)	授業回数(1コマ90分)	授業形態
専門分野	歯科保健指導論Ⅱ	1	30	90分 × 20コマ	講義・ 演習
開講年度および時期	担当教員および実務経験	評価方法		教科書及び参考資料他	
2019年度 前期 ・ 後期	増田 洋子 小中学校の児童生徒や高齢者への健康教育を実施している教員が、小学校とデイサービスセンターでの集団歯科保健指導の指導案、媒体作成を行い、展開法を指導する演習の科目である。	1) 対象者の把握(10) 2) 歯科保健指導準備の取り組み(30) 3) リハーサル(20)、レポート(10) 4) 指導案の作成(30)		歯科予防処置論・歯科保健指導論(医歯薬出版) 臨地実習ハンドブック(クインテッセンス出版)	
一般目標	対象集団の口腔健康支援ができる歯科衛生士になるために、集団歯科保健指導の計画、実施ができる。				
到達目標	①対象集団の歯科疾患の発生リスクが説明できる。 ②生活行動の問題を解決する指導計画を立案できる。 ③保健行動の動機づけとなる媒体が作成できる。 ④歯科保健指導案に基づいた歯科保健指導ができる。 ⑤終了後改善事項を提案し、改善策を協議できる。				
授業計画					
回	単元	形態	内容		備考
1	学童への集団歯科保健指導	演習	低学年・中学年・高学年の対象把握及び情報収集①		すべてグループワークで行う
2	(小学校)	演習	低学年・中学年・高学年の対象把握及び情報収集②		レポート提出
3		演習	指導案の作成(主題・ねらい・指導内容の検討)①		
4		演習	指導案の作成(主題・ねらい・指導内容の検討)②		指導案提出(1回目)
5		演習	指導に必要な原稿・媒体・資料の作成①		
6		演習	指導に必要な原稿・媒体・資料の作成②		
7		演習	指導に必要な原稿・媒体・資料の作成③		
8		演習	指導に必要な原稿・媒体・資料の作成④		
9		演習	リハーサル①		
10		演習	リハーサル②、指導案の検討		指導案提出(2回目)
11		演習	★実技試験(1年生への発表)①		
12		演習	★実技試験(1年生への発表)②		
13	高齢者への集団歯科保健指導	演習	老人デイサービスセンター利用者の対象把握及び情報収集		
14	(老人デイサービスセンター)	演習	指導案作成(主題・ねらい・指導内容の検討)①		
15		演習	指導案作成(主題・ねらい・指導内容の検討)②		指導案提出(1回目)
16		演習	指導に必要な原稿・媒体・資料の作成①		
17		演習	指導に必要な原稿・媒体・資料の作成②		
18		演習	リハーサル①		
19		演習	リハーサル②、指導案の検討		指導案提出(2回目)
20		演習	★実技試験(老人デイサービスセンター)		

分野	授業科目名	単位	時間数(時間)	授業回数(1コマ90分)	授業形態
専門分野	歯科診療補助論Ⅱ	2	60	90分 × 40コマ	講義・演習
開講年度および時期	担当教員および実務経験		評価方法		教科書及び参考資料他
2019年度 前期・後期	原 幸 歯科衛生士としての臨床経験がある教員が、本格的な臨床を体験する学年である学生に知識と臨床応用技術を修得するための講義や演習を指導する科目である。	1) 確認テスト・提出物の評価(10点) 2) 科目終了時の学科試験(60点) 3) 実技試験結果(30点)		歯科診療補助論(医歯薬出版) 保存修復・歯内療法(医歯薬出版) 歯科補綴学(医歯薬出版) 他	
村上圭史	担当3, 4回	緑膿菌、抗菌薬抵抗性、バイオフィルムの研究者である教員が、感染対策のため、学生自身のワクチン接種、感染予防、針刺し事故発生時の対応等を指導する科目である。			
打樋美恵	担当33~38回	歯科診療の保健請求事務を行っている歯科衛生士の教員が、歯科受診者に関する社会保障制度、歯科医療保険のしくみ、歯科診療の保険請求に関する事務手続きを指導する科目である。			
一般目標	1学年で学んだ基本的な知識や技術を応用できるようになるために、より臨床的な講義や実習・演習を行い知識や技術を修得する。				
到達目標	①治療の流れと目的を理解できる。 ②治療内容に応じた器材の準備ができる。 ③治療内容に応じた補助ができる。 ④歯科材料の正しい取り扱いができる。 ⑤自身の抗体検査結果が説明できる。 ⑥簡単な歯科診療の保険請求作業ができる。				
授業計画					
回	単元	形態	内容	備考	
1	1年次の復習	講義	バキューム・ライティング等	小テスト	
2	口腔内診査	演習	カルテへの記載時に必要な知識・歯式の記入		
3	感染対策①	講義	感染対策のため、学生自身のワクチン接種、感染予防、針刺し事故発生時の対応	3~4村上圭史	
4	感染対策②	講義		抗体検査結果および判定表	
5	歯科臨床と診療補助①	講義	保存修復時の診療補助	保存修復・歯内療法の教科書	
6	歯科臨床と診療補助②	講義	直接修復(コンポジットレジン充填)の手順と使用器材	保存修復・歯内療法の教科書	
7	歯科臨床と診療補助③	講義	保存修復時の診療補助	保存修復・歯内療法の教科書	
8	歯科臨床と診療補助④	演習	間接修復(メタルインレー)の手順と使用器材, 精密印象採得	白衣	
9	歯科臨床と診療補助⑤	講義	保存修復時の診療補助	保存修復・歯内療法の教科書	
10	歯科臨床と診療補助⑥	講義	メタルインレーのSET, ホワイトニング		
11	歯科臨床と診療補助⑦	講義	歯内療法時の診療補助	保存修復・歯内療法の教科書	
12	歯科臨床と診療補助⑧	講義	歯髄処置, 感染根管処置, 根管充填		
13	歯科臨床と診療補助⑨	講義	歯内療法時の診療補助	保存修復・歯内療法の教科書	
14	歯科臨床と診療補助⑩	演習	コアの精密印象採得と硬石膏の注入	白衣	

15	歯科臨床と診療補助⑪	講義	歯周外科治療時の診療補助	歯周治療の教科書
16	歯科臨床と診療補助⑫	講義	器具の名称, 浸潤麻酔時の歯科衛生士の役割	口腔外科・歯科麻酔の教科書
17	歯科臨床と診療補助⑬	講義	口腔外科治療時の診療補助	口腔外科・歯科麻酔の教科書
18	歯科臨床と診療補助⑭	講義	抜歯時の器材の準備と取り扱い方法, 外科処置後の注意事項	
19	歯科臨床と診療補助⑮	講義	補綴治療時の診療補助	歯科補綴学の教科書
20	歯科臨床と診療補助⑯	講義	補綴物作製の概要, 各種検査の準備	
21	歯科臨床と診療補助⑰	講義	補綴治療時の診療補助	歯科補綴学の教科書
22	歯科臨床と診療補助⑱	演習	クラウンの精密印象採得と硬石膏の注入	
23	歯科臨床と診療補助⑲	演習	既製冠を用いたテンポラリークラウンを作製仮着	白衣
24	歯科臨床と診療補助⑳	演習	既製冠を用いたテンポラリークラウンを作製仮着	
25	歯科臨床と診療補助㉑	講義	矯正治療時の診療補助	歯科矯正の教科書
26	歯科臨床と診療補助㉒	講義	矯正器具の名称・用途, カード作り(徳大実習前)	
27	歯科臨床と診療補助㉓	講義	小児歯科治療時の診療補助(徳大での口腔内診査の記入)	小児歯科学の教科書
28	歯科臨床と診療補助㉔	講義	障がい者歯科治療時の診療補助(特別な支援の必要な疾患)	障害者歯科の教科書
29	歯科診療で扱う歯科材料①	演習	概形印象採得と普通石膏の注入	白衣
30	歯科診療で扱う歯科材料②	演習	概形印象採得と普通石膏の注入	
31	歯科診療で扱う歯科材料③	講義	概形印象採得と普通石膏の注入	白衣
32	歯科診療で扱う歯科材料④	講義	概形印象採得と普通石膏の注入	
33	保険請求事務①	講義	歯科受診者に関係する社会保障制度、歯科医療保険のしくみ	33～38打樋美恵
34	保険請求事務②	講義	歯科医院での保険請求と事務業務	デンタルスタッフのための歯科保険診療ハンドブック
35	保険請求事務③	講義	歯科医院での保険請求と事務業務	デンタルスタッフのための歯科保険診療ハンドブック
36	保険請求事務④	講義	歯科医院での保険請求と事務業務	デンタルスタッフのための歯科保険診療ハンドブック
37	保険請求事務⑤	講義	歯科医院での保険請求と事務業務について	デンタルスタッフのための歯科保険診療ハンドブック
38	保険請求事務⑥	講義	歯科医院での保険請求と事務業務について	デンタルスタッフのための歯科保険診療ハンドブック
39	実技テスト	演習	内容は事前に説明する	
40	実技テスト	演習	内容は事前に説明する	

分野	授業科目名	単位	時間数(時間)	授業回数(1コマ90分)	授業形態
専門分野	臨床検査法	1	15	90分 × 10コマ	講義・演習
開講年度および時期	担当教員および実務経験	評価方法		教科書及び参考資料他	
2019年度 前期・後期	岡本 浩 病院で臨床検査技師として勤務する教員が、医療の領域に働く者として最低限必要な基礎知識と最近の知見を講義し、臨床検査データから病態のアセスメントができるように指導する科目である。	1) 科目終了時の学科試験(100点)		臨床検査(医歯薬出版)	
一般目標	歯科衛生士として病態の判断・指導ができるようになるために、臨床検査の基本的知識と病気をもつ患者に対応するうえで必要な態度と技能を修得する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ①各種生体検査を概説できる。 ②各種検体検査を概説できる。 ③臨床検査データを理解し、病態の判断ができる。 				
授業計画					
回	単元	形態	内容		備考
1	臨床検査とは	講義	教科書による 1章序説		
2	生体検査①	講義	体温, 血圧, 心電図		
3	生体検査②	講義	肺機能, 筋電図, 脳波, 血中酸素濃度		
4	検体検査①	講義	尿検査, 血液型		
5	検体検査②	講義	生化学検査項目, 検査項目の意義		
6	検体検査③	講義	生化学検査項目, 検査項目の意義		
7	検体検査④	講義	感染症検査, 細菌検査, ウイルス検査		
8	検体検査⑤	講義	免疫・血清検査		
9	口腔領域の検査	講義	口腔領域の検査, 摂食嚥下		
10	主な疾患・病態別検査値のとりえ方	講義	糖尿病, その他		

分野	授業科目名	単位	時間数(時間)	授業回数(1コマ90分)	授業形態
選択分野	日本語表現法	1	15	90分 × 10コマ	講義・演習
開講年度および時期	担当教員	評価方法			教科書及び参考資料他
2019年度 前期・後期	森本 みどり	1)実技テスト(20点) 2)講義最終回の学科試験(80点)			プリント

一般目標 豊かな職業生活やより良い人間関係づくりを目指すために、正しい言葉遣いや的確な話し方を身につける。

到達目標
 ①適切な言葉遣いができる。
 ②受付や診療室で患者の応対ができる。
 ③ビジネス文書を作製することができる。
 ④就職活動における文書表現やマナーを理解できる。

授業計画

回	単元	形態	内容	備考
1	オリエンテーション	講義	授業の目的と進め方, 他己紹介(パブリック・スピーキング)	
2	社会人としての基本マナー	講義	第一印象の大切さ, 身だしなみ・あいさつ・お辞儀	
3	職場での言葉遣い	講義	敬語の種類と使い方, 接遇用語, 感じの良い話し方	
4	歯科医院での応対用語	講義	受付・診療室での応対, 治療後の応対	
5	電話応対の基本	講義	電話応対のポイント, 電話の受け方・かけ方	
6	電話応対	講義	歯科医院での電話応対, 就職活動での電話応対	
7	文書表現の基本	講義	ビジネス文書の種類と基本形, 文書の書き方	
8	就職活動での文書表現	講義	履歴書の書き方, 封筒の書き方, 郵便の知識	
9	就職試験のマナーと面接時の話し方	講義	面接での言葉遣い, 面接での話し方	
10	まとめ	講義	テスト	

分野	授業科目名	単位	時間数(時間)	授業回数(1コマ90分)	授業形態
選択分野	臨床・臨地実習学習法Ⅱ	1	15	90分 × 10コマ	講義・演習
開講年度および時期	担当教員および実務経験	評価方法		教科書及び参考資料他	
2019年度 前期・後期	船奥 律子 歯科診療所、病院、介護施設、保育園、小学校、地域包括支援センター等での歯科衛生業務経験がある教員が、臨床・臨地実習の事前学習、実習計画、学習法などを指導する科目である。	1) 実習計画の評価(20点) 2) 事前学習レポート(40点) 3) 実習報告会発表(20点) 4) レポートプレゼンテーション発表(20点)		臨地実習ハンドブック(クインテッセンス出版) 臨地実習ハンドブック(クインテッセンス出版)	
一般目標	臨床・臨地実習の学びを充実させるために、実習の開始前・実習中・終了後の学び方を学習し、主体性を持って学ぶことができる能力を修得する。				
到達目標	①オリエンテーションを理解できる。 ②実習の目標をたて、実習計画表を作成できる。 ③実習先を把握し、それに備えて事前に学習できる。 ④臨床・臨地実習で学んだこと、経験したことをプレゼンテーションできる。				
授業計画					
回	単元	形態	内容	備考	
1	オリエンテーション①	講義	臨床・臨地実習要項オリエンテーション	臨床・臨地実習要項	
2	事前学習	演習	事前学習(チェックリスト表)		
3	実習計画, 事前学習	演習	実習計画表作成	パソコン, USB★I期実習計画提出(USBへ保存)	
4	実習記録	演習	実習記録用紙の配付, 実習記録の書き方	臨床実習ハンドブック	
5	前期臨床臨地実習I期の振り返り	演習	前期臨床・臨地実習I期の振り返り	★発表	
6	前期臨床臨地実習II期の実習計画	演習	前期臨床・臨地実習II期の実習計画作成提出	★II期実習計画提出(USBへ保存)	
7	実習報告会①	演習	前期臨床・臨地実習報告会:2019年9月13日	★発表	
8	実習報告会②	演習	前期臨床・臨地実習報告会:2019年9月13日	★報告会レポート提出	
9	オリエンテーション②	講義	徳島大学病院実習オリエンテーション	徳島大学病院実習の手引き他	
10	オリエンテーション③	講義	事前学習	★事前学習レポート提出	

分野	授業科目名	単位	時間数(時間)	授業回数(1コマ90分)	授業形態
選択分野	訪問介護技術	3	130	—	講義・演習
開講年度および時期	担当教員および実務経験	評価方法		教科書及び参考資料他	
2019年度 前期・後期	中川 弘 他16名 この科目は各単元実務経験のある教員によるオムニバス形式で構成される。介護員養成研修事業所で徳島県知事に認可されており、実務経験の詳細は学校ホームページに掲載公表している。	1) 科目終了時の学科試験(100点) 2) 合格者には「終了証明書」を授与する		介護職員初任者研修テキスト (ミネルヴァ書房)	
一般目標	要介護者への歯科衛生業務を安全に行うために、介護や社会福祉サービスの知識や技術を修得する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ①介護を必要とする要介護者の説明ができる。 ②介護に関するボディメカニクスが説明できる。 ③整容の介護ができる。 ④移動・移乗の介護ができる。 ⑤食事の介護ができる。 ⑥入浴清潔保持の介護ができる。 ⑦排泄の介助ができる。 				
授業計画					
回	単元	形態	内容		備考
研修開始前にオリエンテーションを開催し、資料を配布する。 学校ホームページに「介護職員初任者研修」について掲載公表しており、その内容は以下のとおりである。 (1) 介護職員初任者研修について (2) 講義予定表 (3) 講師一覧					